

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス（存在意義）

Enhancing planetary health。人と地球の健やかな未来づくりに貢献。

売上高
8,000億円営業利益
600億円親会社株主帰属純利益
450億円ROE
10%

② 中長期の経営戦略

1. EPC事業のさらなる深化

大型EPCプロジェクトの売上高3,500億円を目標。成長市場・分野への拡大で3,000億円目標。データ統合管理システムによるEPC DXを推進。

3. 将来の成長エンジン確立

5つのビジネス領域で2025年度売上高500億円を計画。10年後に5,000億円規模へ育成。エネルギー・トランジション、ヘルスケア、資源循環、水素・SAF等に注力。

2. 高機能材製造事業の拡大

2025年に売上高600億円達成を目指す。プロパーケミカル触媒、ハードディスク研磨材、半導体素材の拡充。ファインケミカル新製品開発や高熱伝導窒化ケイ素基板に投資。

4. プロジェクト遂行力強化

「利益確保と実現性」「リソース確保」「将来の糧」を軸に案件選定。組織横断的なリスク管理を徹底し採算管理を強化。

③ 対処すべき課題

① 海外EPC採算悪化への対応

- 複数の海外プロジェクトで損失引当が発生し、利益項目の達成困難
- 遂行中プロジェクトの完工・引渡しに向けた工事継続
- 個別プロジェクト採算管理と組織横断的リスク管理の強化

② 市場環境の変化への対応

- 金利上昇と建設費用増加により顧客CAPEX増加、投資決定先送り傾向
- 世界経済後退懸念の中でエネルギー需要動向を注視
- 政府補助金サポートを活用した低・脱炭素案件の実現性高い案件に注力

③ 成長事業の確立・展開

- SAF事業：2024年12月完工の大規模生産実証設備から2025年度供給開始予定
- バイオものづくり：統合型バイオファウンドリ事業構築、2024年8月神戸に研究棟用地取得、2025年末完成予定
- CCS案件受注と日本国内CCSバリューチェーン構築の検討開始

面接で使えるポイント

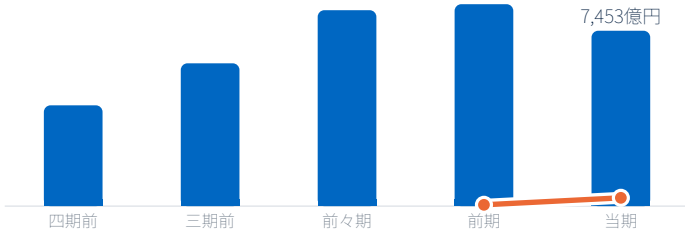
- 2025年度に売上高8,000億円目標の中で、EPC事業3,500億円と成長市場3,000億円の二本柱で収益多様化を推進
- 2024年11月長崎にエンジニアリング拠点開設、国内低・脱炭素・資源循環分野に対応する基盤強化
- SAF・水素・CCS・バイオものづくりなど、将来5,000億円規模への成長エンジン確立に注力中

日揮ホールディングス株式会社

建設業 | プライム（内国株式） | 決算期 3月31日 | 連結…

証券コード 1963

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
7,453億円

営業利益率
4.7%

財務健康度
29点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 64.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
975万円

建設業内 30位/140社

平均年齢
44.6歳

建設業内 35位/140社

平均勤続
12.8年

建設業内 106位/140社

女性管理職
3.0%

建設業内 60位/112社

男性育休
70.0%

建設業内 64位/104社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 東京都、SAF原料の廃食用油回収を加速へ！ 吉川油脂、コスモ

日揮ホールディングス株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

